

Lesson19

動名詞／百聞は一食に如かず

Eating is believing.

動詞を **ing** 形にすることで**動詞**を**名詞**のように使えるようになります。**動名詞**は**名詞**と同様、**主語、目的語、補語**として使ったり**前置詞につけて**使うことができます。**動詞**と同じように、**動名詞**の後ろに**補語、目的語、追加情報**に相当する語（句）をつけることができます。**Eating is believing.** 「百聞は一食に如かず。」にも**動名詞**が使われています。

このレッスンを受講することで**動名詞**について理解できます。

■ Topics

動名詞/ Eating is believing.

Topic1 動名詞の用法

- 動名詞が主語になる場合
- 動名詞が目的語になる場合
- 動名詞が補語になる場合
- 動名詞を前置詞につける場合

Topic2 動名詞のさまざまな形

- 動名詞にしても文型と同じような構成になる
- 動名詞に意味上の主語をつける
- 否定
- 受動態の動名詞
- 完了形の動名詞

Topic3 動名詞を使った注意すべき表現

Wrap-up

DVD 版では練習問題の解説も行います。



Eating is believing.

■ Topic1

動名詞の用法

動名詞はその名の通り**動詞**の**名詞**形です。**動詞**を **ing** 形にすることで**動詞**を**名詞**のように使えるようになり、「～すること」のように訳します。**動名詞**は普通の動詞と同じように、後ろに**補語**、**目的語**、**追加情報**に相当する語（句）をつけることがあります。また、**動名詞**を文の**主語**、**目的語**、**補語**にしたり、**前置詞の後ろにつけて**使うことができます。それでは、用法別に**動名詞**を使う例を紹介します。

●動名詞が主語になる場合

Camping is fun. 「キャンプをすることは楽しいです。」
camp 「キャンプする」を **ing** 形に変え**動名詞**にしています。

Getting up early is a good thing. 「早起きはいいことです。」
get up early 「早起きする」の **get** を **ing** 形に変え**動名詞句**にしています。
Getting up early 「早起きすること」が**主語**になっています。

●動名詞が目的語になる場合

We enjoyed diving. 「私達はダイビングを楽しみました。」
dive 「ダイビングする」を **ing** 形に変え**動名詞**にしています。
diving 「ダイビングをすること」が**目的語**になっています。

I like living in a big city. 「私は大都会に住むのが好きです。」
live 「住む」の **live** を **ing** 形に変え**動名詞**にしています。
living 「住むこと」が**目的語**になっています。

●動名詞が補語になる場合

My hobby is collecting comic books. 「私の趣味はマンガ本を集めることです。」
collect comic books 「マンガ本を集める」の **collect** を **ing** 形に変え**動名詞句**にしています。
collecting 「集めること」が**補語**になっています。

Our problem was having no experience in the telecommunication business before we launched the project.

「私達の問題はそのプロジェクトを始める前にテレコミュニケーション業界での経験がまったくなかったことでした。」

have no experience 「経験がまったくない」の **have** を **ing** 形に変え**動名詞句**にしています。
having no experience 「経験がまったくないこと」が**補語**になっています。

注意： My hobby is collecting comic books.の is collecting のように「be 動詞＋動名詞」の形は進行形と形が似ているので注意が必要です。よく意味を考えて動名詞なのか進行形なのか判断することが必要です。

●動名詞を前置詞につける場合

I am interested in surfing. 「私はサーフィンに興味があります。」

surf 「サーフィンする」を ing 形に変え**動名詞**にしたものを**前置詞 in** 「～に」につけています。

You can create a complicated work schedule by using this application.

「このアプリケーションを使うことで複雑な作業スケジュールを作ることができます。」

use this application 「このアプリケーションを使う」の use を ing 形に変え**動名詞句**にしたものを**前置詞 by** 「～によって」につけています。

□ Topic2

動名詞のさまざまな形

動名詞は**動詞**から作られているので、普通の**動詞**と同じようにいろいろな形の**動名詞**があります。**受動態**や**完了形**の**動名詞**も作ることができます。また、**否定**の意味を加えたり、**意味上の主語**をつけたりすることもできます。

●動名詞にしても文型と同じような構成になる

動名詞にしても**動名詞**の**後ろの構成**は変わりません。例えば、**SVOO** 型の**動詞**は後ろには**目的語**を2つ付け、**SVOC** 型の**動詞**には**目的語**と**補語**を付けることができますので、動名詞にした時も同じような構成となります。

SVOO 型の動詞・give の場合：

What about giving them another chance?

「彼らにもう一度チャンスを与えてはどうでしょうか。」

give 人物「人に物を与える」の give を ing 形にして**動名詞句**にしています。giving them another chance で「彼らにもう一度チャンスを与えること」という意味になります。

SVOC 型の動詞・keep の場合：

This book will give you tips for keeping your house clean and organized.

「この本は、あなたにあなたの家をきれいに整理された状態に保つコツを教えてください。」

keep O C の keep を ing 形にすることで**動名詞句**として使っています。keeping your house clean and organized で「あなたの家をきれいに整理された状態に保つこと」となります。

●動名詞に意味上の主語をつける

動名詞は**主語**をつけずに使うことができますが、**動名詞**の意味する**動作や状態の主語**が、文の主語

と異なる場合や、明確に主語を示したい場合には**動名詞**に**主語**をつけることもできます。しかし**動名詞**は述語動詞を構成するわけではないので、**動名詞**につける**主語**は**意味上の主語**と呼ばれます。**動名詞**に**意味上の主語**を付ける場合は**動名詞**の前に**固有名詞**や**代名詞**の**所有格**や**目的格**をつけます。

Thank you very much for your being so kind to me.

「あなたが私に親切にしてくださりありがとうございます。」

your(**you** の所有格)が **being so kind to me** 「私に親切であること」の意味上の主語となっています。

I felt nervous with you watching me like that. 「私はあなたにあのように見られてハラハラしました。」

you (**you** の目的格) が **watching me like that** 「私をあのように見ること」の意味上の主語となっています。

●否定

動名詞も普通の**動詞**と同じように**否定**の意味にすることができます。その際は**動名詞**の前に **not** をつけて**否定**の意味を加えます。

I'm sorry for not writing to you for a while. 「しばらく手紙を書かないですみません。」

write to you 「あなたに手紙を書く」の **write** を **ing** 形にして**動名詞句**を作っています。

●受動態の動名詞

「**being** + **過去分詞**」という構成にすることで**受動態の動名詞**を作ることができます。

I am tired of being treated as a child. 「私は子供として扱われることにうんざりしています。」

be treated as a child 「子供として扱われている」の **be** を **ing** 形にすることで動名詞句を作っています。

●完了形の動名詞

「**having** + **過去分詞**」という構成を使うことで**完了形の動名詞**を作ることができます。

I feel like having been here before. 「私はここに来たことがあるように感じます。」

have been here before 「以前、ここに来たことがある」の完了形の **have** を **ing** 形にすることで動名詞句を作っています。

■ Topic3

動名詞を使った注意すべき表現

to だからといって**不定詞**の **to** とは限りません。「**to**+動名詞」とする**熟語**がいくつかあるので注意して覚えておく必要があります。

to (前置詞) には「**to**+動詞の原形」(不定詞) のように後ろに動詞の原形をつける使い方と、「**to**+名詞」のように後ろに名詞をつける使い方の2通りがあります。普通、前置詞の後ろには名詞がつくので、**不定詞**の **to** は前置詞の中では特殊な存在です。以下に代表的な「**to**+**動名詞**」という構成になる**熟語**をいくつか紹介します。

- ・ look forward to -ing 「～を楽しみにする」

I look forward to hearing from you. 「あなたからのご連絡をお待ちしております。」

✕ hear

- ・ be used to -ing 「～に慣れている」

We are used to getting up early. 「私達は早起きするのに慣れています。」

✕ get

- ・ be accustomed to -ing 「～に慣れている」

She is accustomed to working late. 「彼女は遅くまで働くことに慣れています。」

✕ work

- ・ be opposed to -ing 「～に反対する」

Most members were opposed to going ahead with the project.

「ほとんどのメンバーはそのプロジェクトを進めることに反対でした。」

✕ go

注意：ここで紹介した **to** は後ろに**名詞**をつける **to** なので、後ろに**動名詞以外**の**名詞**を付けることもできます。例えば、**I look forward to the party.** 「私はそのパーティーを楽しみにしています。」のような文も可能です。

スコアアップ!

(DVD 版のみ収録)



例題 : The mechanic finished _____ my car.

- a. to repair
- b. repairing

問題の答えは **b. repairing** になります。これは動名詞を目的語にとる動詞について理解しているかがポイントになります。不定詞が「これからすること」の意味があるのに対して、動名詞は「することが前提となっていること」や「すでに行ったこと」を表します。例題の **finished repairing** の場合は「修理し終えた」ということなので **repairing** はすでに行った動作を意味しています。下記の動詞は不定詞ではなく、動名詞を目的語に取ります。これらの表現を覚えておきましょう。

動詞 + ing 形	意味	動詞 + ing 形	意味
admit -ing	「～したことを認める」	consider -ing	「～することを考える」
enjoy -ing	「～することを楽しむ」	deny -ing	「～しなかったと言う」
avoid -ing	「～するのを避ける」	suggest -ing	「～しようと提案する」
finish -ing	「～するのを終える」	keep -ing	「～することを続ける」

The mechanic finished repairing my car. 「その整備士は私の車の修理を終えました。」

Eating is believing.

美味しい食べ物についていくら説明を聞いてもなかなか美味しいと感じることはありません。食べ物についてのウンチクを聞いているだけではなかなかおいしさは伝わってきません。Seeing is believing. は「見ることは信じること。」という意味から「百聞は一見に如かず。」とほぼ同じ意味とされる表現ですが、食べ物については見ているだけではよくわかりません。

グルメ番組に出てくるタレントさんってすごいですね。食べ物についてあまり話さなくても、おいしそうに食べている姿を見るだけで、本当に食べたくなくなってしまいます。これはまさに、Seeing is believing. かもしれませんね。

でも、やっぱり美味しい物は食べてみないと実感できませんね。まさに Eating is believing. ですね。

コーヒーブレイク (DVD 版のみ収録)

Wrap-up

- 動名詞とは動詞を **ing** 形にすることで名詞として使う用法のこと。
- 動名詞は名詞のように主語、目的語、補語などとして使える。
- 受身形、完了形の動名詞もある。



Tastes good!

Eating is believing.
「百聞は一食に如かず」

主語 動名詞

Eating 「食べること」

述語動詞 be 動詞

is 「です」

補語 動名詞

believing 「信じること」

Practice

先生の解説を聞き、下記の練習問題を解いてみましょう。(DVD版のみ収録)

1. I like _____ out on weekends.
a. eat
b. eating
c. eaten
d. be eating
2. We look forward to _____ you at the airport.
a. meet
b. meeting
c. met
d. be met
3. I am sorry for _____ you yesterday.
a. did not call
b. not being called
c. call not
d. not calling

Homework

このレッスンに関連した下記の練習問題に挑戦してみましょう。

1. Most prospective employees seemed to enjoy _____ the demonstration video.
a. be watch
b. to watch
c. being watched
d. watching
2. Thank you very much for _____ me the way to the station.
a. show
b. to show
c. showing
d. being shown
3. _____ is one of the most challenging professions in the world.
a. Be an actor
b. Being an actor
c. Being acted
d. Having acted

■ Explanation - Practice

1. I like eating out on weekends. 「私は週末に外食するのが好きです。」

解説 : **b. eating** が答えです。eat out で「外食する」の意味になります。これを**動名詞**にして「外食すること」の意味にしています。

a. eat 「食べる」(動詞の原形) は動詞なので、**like** (動詞) の目的語として付けられません。**to** があれば不定詞として付けられます。同様に **c. eaten** (過去分詞)、**d. be eating** (be 動詞の原形+~ing) も **like** (動詞) の目的語として入れられません。

2. We look forward to meeting you at the airport.

「私達は空港であなたにお会いするのを楽しみにしています。」

解説 : **b. meeting** が答えです。**look forward to** ~ 「~を楽しみにする」の **to** には名詞をつけます。動詞をつける場合は **ing** 形にして動名詞にします。このレッスンで学習したように「**to**+動名詞」とする**熟語**の代表例です。

look forward to の **to** は不定詞の **to** ではないので、**a. meet** (動詞の原形)、**c. met** (動詞の過去形・過去分詞)、**d. be met** (be 動詞の原形+過去分詞) をつけることはできません。

3. I am sorry for not calling you yesterday. 「昨日電話しないですみませんでした。」

解説 : **d. not calling** が答えです。**not** を動名詞の前につけて否定の意味にします。**not calling you** は「あなたに電話しなかったこと」のような意味になります。

a. did not call を **for** の後ろにつけることはできません。**I am sorry that I did not call you yesterday**. 「昨日電話しないですみませんでした。」とすれば正しい文になります。**b. not being called** は受身形の動名詞になり、「私が電話をされなかったこと」を謝っているようになり、意味がおかしくなります。また、うしろの **you** につなげられません。**c. call not** は **for** (前置詞) に付けられません。

■ Explanation - Homework

1. Most prospective employees seemed to enjoy watching the demonstration video.

「ほとんどの内定者はデモビデオを見るのを楽しんでいるようでした。」

解説 : **d. watching** が答えです。**enjoy** の後に動詞をつける場合は **ing** 形にします。不定詞は付けられません。**enjoy watching** ~で「~を見るを楽しむ」の意味になります。

a. be watch、**b. to watch** は **enjoy** (動詞) につなげられません。**c. being watched** を入れて **enjoy being watched** とすると「見られるを楽しむ」の意味になりますが、**SVO** 型の動詞の受身形なので後ろに目的語(~を)をとることはできません。

2. Thank you very much for showing me the way to the station.

「駅までの道を案内してくださりありがとうございます。」

解説 : **c. showing** が答えです。**for** (前置詞) の後なので動名詞の **showing** が答えになります。**show**

人 **the way to** ～で「人に～までの道を案内する」という意味になります。

to には不定詞の使い方があるため動詞の原形をつけることができますが、**for** には前置詞の使い方しかないため後ろに動詞の原形をつけることはできません。**for** (前置詞) には名詞か動名詞などの名詞に相当する語 (句) をつけます。そのため **a. show** (動詞の原形) は下線部に入れることはできません。**b. to show** (不定詞) も **for** (前置詞) につなげられません。**d. being shown** は受身形の動名詞になっていますが、**show** は **SVOO** 型の動詞なので受身形にして後ろに **me** をつなげる時は～ **is shown to me** のように **to** が必要になります。(レッスン 17 参照)

3. Being an actor is one of the most challenging professions in the world.

「俳優であることは世界の中で最も大変な仕事のうちの1つです。」

解説 : **b. Being an actor** 「俳優であること」が答えです。下線部に入るものは主語です。そこで名詞に相当するものを下線部に選びます。このレッスンで学習したように、動名詞も主語にすることができます。

a. Be an actor 「俳優になれ」のような命令文と理解することはできませんが、主語になることはできません。**c. Being acted** 「演じられること」や **d. Having acted** 「演じたこと」は両方とも動名詞になることは可能ですが、この文の主語になるには意味的に不自然です。